

各委員会・分科会での主な審査概要

総務企画委員会・分科会

質 災害対策寄附金受入れの経緯と活用方針は。

答 昨年の大雨被害の災害復旧及び今後の災害対策に役立てていただきたいとの趣旨で、第68回日本母親大会及び明治安田生命保険相互会秋田支社から寄附をいただいたものである。避難所生活の質の向上に資する備蓄品の購入等に活用したいと考えている。

質 職員人件費の増額に関し、交付税措置の見直しは。

答 基準財政需要額の算定となる人件費の改定分の影響額は2億6166万8000円で、地方交付税の額については、国の補正予算において地方交付税の増額が提案されている。現時点では確定していないが、約1億円程度になるものと見込んでいる。

質 今後、民間のみならず、消費者であり生活者である公務員にあって、給与は上がっていかなければならないかと考えるが、市としても今後の財政見直しにおける人件費の比率は増加していくと考えているか。

答 今後、人件費は上昇の傾向にあると見込んでおり、市財政における構成比率も増加していくものと考えている。

質 今回の職員の給与改定に当たり、若年層に重点を置いたとしている。

答 人事院勧告においても、多様な人材を確保するため若年層に重点を置くことが必要であるとされている。県及び市においても、これに準拠していると思うが、若年層を中心に引き上げることについて、市としてどのように考えているのか。

答 国の人事院勧告、それを受けた秋田県の人事院勧告のいずれも若年層に重点を置いている。市としても、人材を確保し、流出を防ぐという観点からも、国、県と同様の考え方により給与改定を実施するものである。

質 特別職の職員の期末手当の支給割合について、職員は期末手当と勤労手当合わせて0・15カ月分の引上げとなっているが、特別職は期末手当のみで職員と同じ0・15カ月分の引上げとなっている。これは人事委員会勧告に準拠した内容か。

答 特別職については各自治体で判断することになる。県の特別職や他の状況等を踏まえ改定しようとするものである。

(今野孝碩)

文教民生委員会・分科会

質 障害児通所給付費等事業費における、扶助費に関し、放課後等デイサービス等の利用状況は。

答 制度の周知を図ったほか、今年度より新規事業所が1か所増えたことにより、利用者は増加傾向にある。

質 後期高齢者健診事業費における、委託料に関し、後期高齢者医療健康診査の受診状況は。

答 昨年度と比べ、受診者数は増加しており、今年度は受診者数2147名、受診率20%程度を見込んでいる。

質 予防接種健康被害給付金の内容は。

答 昨年度まで行われていた特例臨時接種期間において、新型コロナウイルスワクチン接種後に亡くなった方への給付金であり、10月に国からの認定を受けての予算計上となっている。

質 これまでの予防接種健康被害救済制度の申請状況は。

答 現在まで6件の申請があり、そのうち4件が認定、残り2件が否認及び審査中となっている。

質 認定された4件の内容は。

答 即時性アレルギーによる申請が2件、循環器系疾患による申請が1件及び今回の事業が1件となっている。

質 今回の事業が認定された理由は。国からの通知によると、当該予

防接種が原因となった可能性が否定できないとの理由により認定された。

質 乳幼児健康診査費に関し、消耗品費の内容は。

答 明治安田生命保険相互会秋田支社からの寄附金を活用し、乳幼児健診参加者へ配付する子育てグッズの購入を予定しており、具体的には1歳未満の子供がいる参加者にはお尻拭き、1歳以上の子供がいる参加者には歯磨きセットを配付したいと考えている。

質 国民健康保険特別会計補正予算における、特定健康診査対策事業費に関し、報償費の内容は。

答 明治安田生命保険相互会秋田支社からの寄附金を活用し、特定健診受診促進キャンペーンの景品として、1万円分のクオカード35人分の贈呈を想定している。

(阿部 誠)

